

(1面からの続き) 測提案する保育計画の内容を一連の過程は、保育者の知識と専門性を育む意味を持っていきます。

一方、システムの、保育指導案作成機能を利用すると次のような流れになります。

①テンプレート画面を開く②「指導案文例を選択」(または、「過去の指」導案を複製)③上長の確認・再検討④承認、という過程になります。また、過去の指導案を検索機能で呼び出せば、過去の指導案をコピーして、張り付けて完成させることも可能です。

こうした、予測された文例の機能を利用すれば、保育者が子どもに向き合い、思考するプロセスが抜け落ちしてしまいかねません。システムによって、指導案の作成に求められてきた保育者の知識や専門性が、テック企業に補助され、時間短縮が進む可能性があるかもしれません。

測提案する保育計画の内容を一連の過程は、保育者の知識と専門性を育む意味を持っていきます。

保育者としての経験が浅い新人が、指導計画作成にテック企業の文例を利用すれば、提案された内容に影響され、子どもに向き合えず、また、テック企業が提案する内容を、経験の浅い保育者が良し悪しの判断をつけるのは難しいでしょう。提案された内容をそのまま使用してしまってもあり得ます。

こうしたテック企業の予測が保育計画づくりに普及していき、保育者が子どもと向き合い、思考すること、同僚や上司に相談し、計画を練り上げて形にすること、計画を実践しながら、子どもにとってよりよい保育を新たに考える、一連の思考のプロセスが省略されてしまう可能性があります。

データによる子どもの選別しかし、テック企業が予測する内容が、子どもの現状に即した、合理的な保育方針を、指導案に採用するか否かの判断には、保育者の専門性がなくてはならないでしょう。

テック企業は、ビッグデータを背景に文例予測を行うことで、子どもにぴったりの「パーソナライズ」(個別化)されたサービス提供ができる、としています。

しかし、「ビッグデータ」と「予測」が人よりも良い判断ができるという意見は、簡単に保育現場に受け入れられるものではありません。

①テック企業が予測した内容について根拠を説明できるのか

テック企業の文例は「便利」「効率的」という言葉とセットで語られますが、本心にそぐうと言えない根拠が説明されているでしょうか。また、文例の予測を利用する保育者は文例予測機能を理解して利用しているのでしょうか。テック企業が提案してきた内容が、子どもの発達を促すものである根拠を説明できるのでしょうか。

テック企業が提案する内容が、子どもの現状に即した、合理的な保育方針を、指導案に採用するか否かの判断には、保育者の専門性がなくてはならないでしょう。

た、合理性のある保育方針を、指導案に採用するか否かの判断には、保育者の専門性がなくてはならないでしょう。

子ども「選別」システムを利用すれば、保育園と保護者が記録した子どもの情報はデータ化され、テック企業に収集されます。ビッグデータとなつた子どもと保育園の情報は、AI分析にかけられ、保育園と子どもを「個別化」(類型化)し、子どもと保育園にとって「最適化」した保育方針等を、サービスとして提供してきます。

子ども「選別」システムを利用すれば、保育園と保護者が記録した子どもの情報はデータ化され、テック企業に収集されます。ビッグデータとなつた子どもと保育園の情報は、AI分析にかけられ、保育園と子どもを「個別化」(類型化)し、子どもと保育園にとって「最適化」した保育方針等を、サービスとして提供してきます。

保育園はこれまでの個人情報保護してきた子どもの個人情報、テック企業に握られることになりま

保育の技術的主導権が握られる可能性

保育園は子どものデータが人質に取られている状態になります。サービス利用をやめてしまえば、現状の保育内容に影響が出るようになるからです。

保育の技術的主導権が握られる可能性

保育園はこれまでの個人情報保護してきた子どもの個人情報、テック企業に握られることになりま

保育の技術的主導権が握られる可能性

保育の技術的主導権が握られる可能性

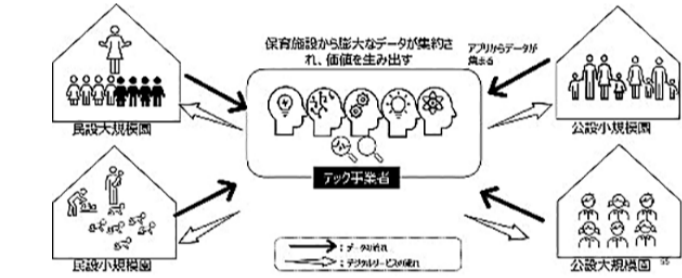
自治体独自でシステムをつくることもほぼ不可能です。テック企業のシステムを利用すれば、やめられない「ベンダーロックイン」に陥りかねません。

自治体独自でシステムをつくることもほぼ不可能です。テック企業のシステムを利用すれば、やめられない「ベンダーロックイン」に陥りかねません。

自治体独自でシステムをつくることもほぼ不可能です。テック企業のシステムを利用すれば、やめられない「ベンダーロックイン」に陥りかねません。

自治体独自でシステムをつくることもほぼ不可能です。テック企業のシステムを利用すれば、やめられない「ベンダーロックイン」に陥りかねません。

自治体独自でシステムをつくることもほぼ不可能です。テック企業のシステムを利用すれば、やめられない「ベンダーロックイン」に陥りかねません。



5月3日(水祝)午後13時~有明防災公園で2023憲法大集会が開催されました。2万5千人の参加がありました。

東税退職者会から参加した横島さんは、「都税支部からたくさん来てよかった(憲法闘争は)頑張りたい。ここでへたばったら、終わり。あとは、若い人に期待しています」と話しました。

住宅全般の無料相談会

私たちは、東京土建一般労働組合に加入している設計等に携わる仲間が集う『設計者の会』です。今回、住まいのお手入れや修理・修繕からリフォーム、耐震診断や補強・バリアフリー化等の住宅全般に関する無料相談を建築士が行います。開催場所は新宿区ですが、他区・市からのご相談にも対応致します。様々なご要望に沿うためZOOMを活用したオンライン相談も計画しております。スムーズなご対応をさせて頂くため、あらかじめ予約をしていただく形とさせて頂いております。下記QRコードからご予約ください。

【日程】5月28日(日)10時から16時を予定
【住所】東京都新宿区北新宿1-8-16 けんせつプラザ東京1階
【お問い合わせ】03-5332-3971
東京土建本部 仕事対策部 担当 加藤まで



自動車共済 お見積り 取っていませんか? キャンペーン 2023.2.1 ~ 5.31 お見積りサイトQR

組合員のための無料法律相談 日時 6月15日(木)13時~ 場所 中野すずらん法律事務所 担当 久保木 亮介弁護士 東京自治労連の組合員はどなたでも無料(初回のみ)。